

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもサポート教室プリズム		
○保護者評価実施期間		2026年1月6日	～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)
○従業者評価実施期間		2026年1月6日	～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間		2025年12月15日	～ 2026年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11	(回答数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月17日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育園やが学校で務めた経験があるので現場の先生の気持ちを理解して支援ができる。	・担任の先生とのコミュニケーションを大事にしている。 ・教頭先生にも訪問の様子を報告し、気にかけていただいている。 ・通級の先生や特別支援コーディネーターの先生とも連携している。	・訪問支援員のスキルアップ。（研修等の充実） ・学校の先生方との信頼関係を築いていく。 ・担任の先生の学級経営方針を尊重しながら訪問支援員に何ができるか、考えて支援していきたい。 ・担任の先生に来てもらってよかったです、アドバイスもらえて助かったと思われる支援をしていきたい。
2	・児童発達支援や放課後等デイサービスでの療育経験豊富でお子さんの困り感に寄り添った支援ができる。	・利用児の思いや意思表示、ヘルプサインに気づけるように心がけている。 ・困り感に寄り添いながら自分でできることを増やす声掛けを意識している。 ・自立に向けて何が必要なのか、課題の抽出を行い、関係者と情報共有している。	・訪問支援員のスキルアップ。（研修等の充実） ・担任の先生それぞれのやり方に合わせながら利用児にとってベストな支援をしていきたい。 ・利用児ができるなどを増やしていきたい。 ・自立に向けて何が必要なのか、課題の抽出を行い、関係者と情報共有して実践に繋げていきたい。
3	・児童発達支援管理責任者の資格と経験があり、保護者様に寄り添ったサポートができる。	・進学先への見学や面談同行を行なっている。 ・かかりつけ医へ受診同行し、訪問の様子をお伝えしている。 ・訪問後に毎回保護者様へ学校の様子をお伝えしている。 ・保護者様の学校の先生への意向をプラスになるような伝え方で橋渡しを心掛けている。	・訪問支援員のスキルアップ。（研修等の充実） ・最新の情報を取り入れて保護者様に提供していきたい。 ・必要に応じて医療や専門家に繋げていきたい。 ・有意義な講演会などのお知らせを発信していきたい。 ・保護者の会やペアトレなども取り入れていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・多機能型で放課後等デイサービスとの時間が逆のため、顔を合わせた情報共有が難しい時がある。 ・訪問支援員同士の訪問時間の違いで顔を合わせた情報共有が難しい時がある。	・訪問の希望を優先してしまっている。	・メールやメモで情報共有をする。 ・児童発達支援管理責任者に伝達してもらう。
2	・多機能型で放課後等デイサービスと合同の研修の時間と訪問の時間が被ってしまう。 ・研修資料の閲覧だけになる場合が多い。	・訪問の希望を優先してしまっている。	・先に研修時間を確保する。 ・社内研修の日程を早めに確認して調整する。
3	・訪問が初めての職員に対しての研修制度	・ガイドラインや手引きだけではわからないところがある。	・経験のある訪問支援員に同行して学んでもらっているが、他の事業所がどうされているか知りたい。 ・保育所等訪問の研修会に参加したい。